

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 Mipox株式会社

コード番号 5381 URL http://www.mipox.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 淳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 折登 進 (TEL) 042-548-3730

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,746	△2.3	117	△44.4	131	△28.0	75	△56.7
25年3月期第2四半期	1,786	15.3	211	835.7	182	—	173	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 84百万円(△27.0%) 25年3月期第2四半期 116百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7 65	7 49
25年3月期第2四半期	17 05	17 03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,011	4,063	66.9
25年3月期	5,280	3,975	74.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,022百万円 25年3月期 3,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,677	7.9	284	3.3	289	△3.7	183	18.8	18 66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期2Q	10,696,320株	25年3月期	10,696,320株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	868,808株	25年3月期	884,708株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期2Q	9,819,583株	25年3月期2Q	10,181,138株

※自己株式数は、信託口が所有する当社株式376,900株を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

・平成25年12月5日(木)・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、政府の金融対策の効果による円高是正や経済対策の期待から景気回復の兆しが見られた一方、欧州経済の低迷や中国やインドなど新興国における経済成長の鈍化により、引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループでは、前期に引き続き経営基本方針である「業界をリードする製品事業の拡充」「受託事業強化」「早い変化に対応できる経営基盤の整備」のもと、当社グループの強みであり基盤である研磨・塗布技術に更なる磨きをかけ、顧客ニーズに合った製品開発、サービスの提供を目指す各種取り組みを進めております。

「業界をリードする製品事業の拡充」では、ハードディスク関連市場の低迷が続いており当社製品の売上に影響がありました。光ファイバー関連市場向け研磨フィルムの上は堅調に推移しております。

「受託事業強化」では、受託案件の継続受注に加え、新規引き合いの増加等により堅調に推移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は17億46百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

損益面においては、人件費の増加や本社移転費用等の販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は1億17百万円（前年同期比44.4%減）となりました。

経常利益は、米ドルに対する円安が進行し営業外収益において為替差益40百万円が発生した結果、経常利益は1億31百万円（前年同期比28.0%減）となりました。

四半期純利益は、75百万円（前年同期比56.7%減）となりました。なお、前期は旧昭島工場用地の一部売却により、特別利益として有形固定資産売却益を39百万円計上しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ・製品事業

製品事業の売上高は、14億58百万円（前年同期比2.9%減）となりました。光ファイバー関連市場での研磨フィルム等の売上が増加しましたが、ハードディスク関連市場の低迷により液体研磨剤・ワイプテープ等の売上が減少しました。

その結果、セグメント利益は1億79百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

#### ・受託事業

受託事業の売上高は、2億87百万円（前年同期比0.9%増）となりました。受託案件の継続受注に加え、新規引き合いの増加等がありました。

その結果、セグメント損失は62百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は60億11百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億30百万円増加いたしました。主な内容は、現金及び預金の増加4億38百万円、たな卸資産の増加74百万円、有形固定資産の増加1億73百万円等であります。

#### (負債)

負債の部は19億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億43百万円増加いたしました。主な内容は、買掛金の増加73百万円、私募債の発行による社債の増加5億50百万円等であります。

#### (純資産)

純資産の部は40億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて87百万円増加いたしました。主な内容は、四半期純利益75百万円、自己株式の減少による増加14百万円等であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、66.9%となりました。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末から4億38百万円増加し、16億27百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により、資金は2億45百万円の増加(前年同期は81百万円の増加)となりました。主な内容は、税金等調整前四半期純利益1億14百万円、減価償却費93百万円、仕入債務の増加75百万円、賞与引当金の増加21百万円、株式給付引当金の増加16百万円、たな卸資産の増加による減少66百万円等であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により、資金は2億65百万円の減少(前年同期は6億6百万円の増加)となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出2億46百万円等であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により、資金は4億58百万円の増加(前年同期は6億27百万円の減少)となりました。主な内容は、社債の発行による収入5億25百万円、長期借入れによる収入2億円、長期借入金の返済による支出2億61百万円等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績予想については、平成25年11月8日付「平成26年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」により、修正いたしました。

## 個別業績予想の概要(参考情報)

平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	2,567	0.0	273	32.5	245	—	24	95

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 個別通期業績予想は、平成25年11月8日に公表しました業績修正により、修正いたしました。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,341,964	1,780,192
受取手形及び売掛金	810,947	805,241
商品及び製品	229,522	312,843
仕掛品	380,382	361,487
原材料及び貯蔵品	123,167	132,925
繰延税金資産	22,000	27,963
その他	44,677	78,346
貸倒引当金	△2,276	△1,409
流動資産合計	2,950,387	3,497,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,565,808	4,673,627
機械装置及び運搬具	1,244,327	1,277,569
土地	515,267	515,267
その他	493,293	525,243
減価償却累計額	△4,573,579	△4,573,271
有形固定資産合計	2,245,116	2,418,435
無形固定資産		
投資その他の資産	36,539	35,393
繰延税金資産		
繰延税金資産	112	106
その他	55,119	66,606
貸倒引当金	△6,644	△6,644
投資その他の資産合計	48,587	60,067
固定資産合計	2,330,244	2,513,896
資産合計	5,280,631	6,011,487

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	147,632	221,534
短期借入金	290,000	290,000
1年内償還予定の社債	—	68,200
1年内返済予定の長期借入金	133,347	121,345
未払法人税等	35,213	35,895
賞与引当金	55,003	75,775
その他	145,531	181,055
流動負債合計	806,728	993,806
固定負債		
社債	—	481,800
長期借入金	304,503	254,942
退職給付引当金	118,370	117,378
株式給付引当金	—	16,636
繰延税金負債	2,543	753
その他	72,754	83,071
固定負債合計	498,172	954,582
負債合計	1,304,900	1,948,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,998,700	1,998,700
資本剰余金	2,948,262	1,873,080
利益剰余金	△565,183	571,707
自己株式	△574,239	△559,330
株主資本合計	3,807,540	3,884,158
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	128,682	138,558
その他の包括利益累計額合計	128,682	138,558
新株予約権	39,508	40,382
純資産合計	3,975,730	4,063,098
負債純資産合計	5,280,631	6,011,487



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,786,461	1,746,004
売上原価	999,492	986,870
売上総利益	786,969	759,133
販売費及び一般管理費	575,483	641,553
営業利益	211,486	117,580
営業外収益		
受取利息	1,199	186
受取賃貸料	11,565	11,341
為替差益	—	40,134
その他	1,443	4,317
営業外収益合計	14,209	55,980
営業外費用		
支払利息	12,804	12,871
社債発行費	—	24,187
為替差損	25,842	—
その他	4,829	5,309
営業外費用合計	43,476	42,368
経常利益	182,219	131,191
特別利益		
固定資産売却益	39,460	200
新株予約権戻入益	159	799
特別利益合計	39,620	999
特別損失		
固定資産除却損	2,867	10,135
会員権売却損	850	—
事務所移転費用	—	2,347
リース解約損	—	5,200
特別損失合計	3,717	17,682
税金等調整前四半期純利益	218,122	114,508
法人税、住民税及び事業税	52,546	46,539
法人税等調整額	△8,053	△7,140
法人税等合計	44,492	39,398
少数株主損益調整前四半期純利益	173,629	75,109
四半期純利益	173,629	75,109
少数株主損益調整前四半期純利益	173,629	75,109
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△57,238	9,876
その他の包括利益合計	△57,238	9,876
四半期包括利益	116,390	84,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,390	84,985
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	218,122	114,508
減価償却費	91,983	93,654
貸倒引当金の増減額(△は減少)	218	△988
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,099	21,543
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,863	△992
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	16,636
受取利息及び受取配当金	△1,199	△186
支払利息	12,804	12,871
社債発行費	—	24,187
固定資産売却損益(△は益)	△39,460	△200
固定資産除却損	2,867	10,135
会員権売却損益(△は益)	850	—
事務所移転費用	—	2,347
リース解約損	—	5,200
売上債権の増減額(△は増加)	△150,197	9,291
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,394	△66,845
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,797	75,086
その他	△18,946	△10,430
小計	124,603	305,818
利息及び配当金の受取額	1,199	186
利息の支払額	△11,881	△11,894
事務所移転費用の支払額	—	△2,347
リース解約損の支払額	—	△5,200
法人税等の支払額	△32,167	△40,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,753	245,983
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△41,556	△246,584
有形固定資産の売却による収入	638,007	—
有形固定資産の除却による支出	—	△4,000
無形固定資産の取得による支出	△2,740	△2,650
会員権の売却による収入	12,590	—
敷金及び保証金の差入による支出	△291	△12,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	606,008	△265,886
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△568,000	—
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△57,899	△261,295
社債の発行による収入	—	525,812
自己株式の取得による支出	△7	△34
自己株式の処分による収入	—	2,762
リース債務の返済による支出	△1,979	△8,306
配当金の支払額	△4	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△627,890	458,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,750	△942
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	33,120	438,091
現金及び現金同等物の期首残高	858,350	1,189,451
現金及び現金同等物の四半期末残高	891,471	1,627,543

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年6月27日開催の第83期定時株主総会決議に基づき、同日付けで下記のとおり、剰余金の処分を行っております。

(剰余金の処分に関する事項)

- ① 減少する剰余金の項目およびその額
- |          |             |
|----------|-------------|
| その他資本剰余金 | 1,064,065千円 |
| 別途積立金    | 2,382,092千円 |
- ② 増加する剰余金の項目およびその額
- |         |             |
|---------|-------------|
| 繰越利益剰余金 | 3,446,158千円 |
|---------|-------------|

この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が1,064,065千円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益及び包括利 益計算書計上額
	製品事業	受託事業	合計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,501,141	285,320	1,786,461	1,786,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,501,141	285,320	1,786,461	1,786,461
セグメント利益又は損失(△)	224,003	△12,517	211,486	211,486

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益及び包括利 益計算書計上額
	製品事業	受託事業	合計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,458,090	287,913	1,746,004	1,746,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,458,090	287,913	1,746,004	1,746,004
セグメント利益又は損失(△)	179,747	△62,167	117,580	117,580

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結累計期間において、「日本」、「マレーシア」及び「中国」に区分していた報告セグメントについては、「製品事業」とともに「受託事業」のコアとしての事業の位置づけを明確にし、事業環境の変化に機動的且つ柔軟に対応していくことを目的として、第1四半期連結会計期間より「製品事業」及び「受託事業」に報告セグメントの区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

## (重要な後発事象)

当社は、平成25年10月21日開催の取締役会において、当社所有の社員寮の解体、撤去を決議し、これに伴い第3四半期連結会計期間に特別損失として固定資産除却損103,630千円を計上する見込みであります。